

夏に向けた節電対策

名都野自治会で出前講座を開催。

(2011-6-5)

6月5日、東日本大震災による電力不足に伴い政府は企業・家庭に対して今年夏の節電目標を15%とするよう呼び掛けている中、名都野自治会館で「夏に向けた節電対策」の出前講座が開催されました。温暖化防止ながれやま(平手 彰代表)によるもので、参加した名都野自治会(小泉尚昭会長)30名の会員さんは、節電について熱心に耳を傾けました。



名都野自治会館は、会員さんらで東、南、西の窓面にゴーヤカーテンを設置しています。(上写真)

菅原英雄講師は「CO2排出量の“見える化”とは」(家庭の電気を通して)と題して講演。家庭での電力消費量はエアコン、照明、冷蔵庫、テレビで7割近くになるので使い方を工夫しましょう。電気料金はアンペア基本料金と使用電力量(従量)で決まるので契約を見直すことと、電化製品ごとの消費電力と利用時間を確認することが大事と指摘。

さっそく、菅原講師が持参した照度計で部屋の

照度を測定(右写真)したら明るすぎることが判明。天井に蛍光灯(40w)が2本ずつ点灯されていたので小泉尚昭会長の手によって各照明器具に2個付いている点灯管の内1個が外され50%の省エネとされました。外された点灯管は大事に保管されます。

春田育男講師は「どうして節電が必要なのか?」と題して講演。昨年の夏、どれだけ電力が使われたのかを示し、今年の夏、電力はどれだけ足りないかを説明。

3人世帯の家庭で15%削減する節約モデルとして、照明・テレビ・冷蔵庫などの工夫を解説しました。



美田自治会の「美田エコノート診断」(左写真)について紹介された。これは我家の1年間の消費量が団地平均と比べて使い過ぎているのかが分かるものです。参加した会員さんからは、手軽に出来ることから取り組みますとの感想や「冷蔵庫にカーテンを取り付けたら省エネになった」との紹介が寄せられました。

☆この出前講座を希望される団体は下記宛に；
流山市環境政策課 (04-7150-6083)

班 7

美田エコノート診断(22年)

整理番号 47

